

市宮南畑敷住宅 1 6 ・ 1 7 号解体工事

令和 7 年 3 月

株式会社原井隆建築設計事務所

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1) 第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	校 図	製 図	工事名称 市営南畑敷住宅 16・17号解体工事	図面名称	表紙	図面番号
								A-00
						縮尺	N.S.	区分

I 工事概要			I 一般共通事項		II 仮設工事		III 解体施工			
1 工事名称 市営南畑敷住宅 1 6 ・ 1 7 号解体工事			項目		特記事項		項目		特記事項	
2 工事場所 三次市南畑敷町 1 3 2 番地 5			⑧ 工事工程表 (1. 2. 1)		(3) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。 なお、本工事では、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。		② 0 かし担保調査		竣工後、発注者からかし担保調査（建設工事請負契約款第41条に定める期間内）の連絡があった場合には、調査に協力すること。	
3 構造・規模 木造平屋建 延べ面積：77.41㎡（本体）、92.97㎡（入居者による増築部分）			⑨ 施工計画書 (1. 2. 2)		建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、建設副産物適正処理実施要領に基づき事前調査のうえ、事故防止及び環境保全に十分配慮した解体工法並びに建設廃棄物の処理等について具体的に定めた施工計画書を作成し、あらかじめ監督職員に提出し承諾を得ること。 （仮設計画、安全・環境対策、工程計画、解体計画、発生材の処分計画）		② 1 家電リサイクル法対象機器の処分		特定家庭用機器再商品化法（平成10年6月5日法律第97号）に指定する機械機器を処分する場合は、同法に基づき処理を行うこと。また、工事完了後に管理票の写しを提出すること。	
4 工事種目 (1)建物解体・撤去工事一式（内訳は別図による）			⑩ 施工条件 (1. 3. 5)		(1)作業時間は、原則午前8時半から午後5時までとし、通学時間帯を考慮すること。 なお、時間変更する必要がある場合は監督職員の承諾を受けること (2)日曜日及び祝日に作業を行わないこと。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 (3)その他図示による		② 2 完成時の提出図書 <1.8.1～3> < >は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）の該当項目を示す		・竣工図： 部（A2版： 部、 版： 部、C-D-R： 部） ①完成図書 2部 竣工図は残置及び設置工作物等、工事完了時に敷地内に存する物（埋設物も含む）の種類、位置及び供給管の切断箇所等の今後当該敷地を管理していく上で必要な事項を明記した配置図を作成し、提出すること。	
5 別途工事			⑪ 安全確保 (1. 3. 6 ～ 1. 3. 8)		(1)受注者は、現場代理人を工事現場に常駐させ、工事現場内外及び下請業者の管理を十分に行い、周囲の建物、通行者等に損傷を与えないように注意して、工事施工をすること。なお、万一損傷が生じた場合は、受注者の責任において処理すること。 (2)工事中は、騒音、振動の発生、粉塵の飛散（散水）、道路の汚染等の防止に努めること。 低騒音型・低振動型建設機械の使用（近接住民の生活環境の保全の必要性がある場合） (3)歩行者等の通行に支障を生じないよう誘導員を配置し適切な処置を講じること。特に道路幅の狭い箇所及び児童の通学路と重複する箇所には、誘導員を配置する等の措置を講じること。 (4)ダンプトラック等による過積載の防止を図ること。 (5)作業現場には、労働安全衛生法に基づく作業主任者等を置き、作業の安全管理に努めること。 ①つり足場（ゴンドラのつり足場を除く）、張出し足場又は高さ5m以上の構造の足場の組立て、解体を行う場合、コンクリート造又は鉄骨造の工作物（その高さが5m以上のもの）の解体作業を行う場合は、労働安全衛生法第14条に基づく技能講習を終了したものとする。 ②木造建築物の解体作業を行う場合は、平成3年1月21日付け基発第39号「安全衛生教育の推進について」及び平成元年9月5日付け基発第485号「木造建築物の解体工事の作業指揮者に対する安全教育について」に基づく安全教育を終了した者とする。		② 3 試掘		地中に解体撤去すべき工作物等がないことを確認するため、次の時期及び方法により試掘を行う。 試掘時期 ※完成検査時 ・（ ） 試掘方法 ※機械掘削 ・ 人力掘削 なお、試掘は建築物1棟ごとに1箇所以上、外構（排水施設、舗装等）で1箇所以上行い、試掘する箇所については、検査員の指示による。	
6 公衆災害防止措置 ア 工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危害、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。 イ 上記について、「建設工事公衆災害防止要綱（平成5年1月12日付 建設事務次官通達）」に基づき実施すること。			⑫ 工事の記録 (1. 2. 3)		下記のものを監督職員に提出する。工事中写真及び完成写真の作成は「営繕工事写真作成要領」によるものとする。 (1)工程写真 工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真（カラー・サービス版）を期間別工事工程報告書に添付するものとする。 (2)工事中写真 全般的な解体工事の状況、建設副産物処理及び事前措置、解体手順の各段階における施工が完了した写真、水中又は地下に埋設される部分、分別解体を行っていることが確認できる状況写真、その他工事終了後では確認できない事項、その他監督職員が指示する箇所は、A4版写真台紙にまとめて完成検査日までに提出するものとする。 なお、基礎や地下構造物等の撤去については、撤去物の全般に亘り、その位置・深さが明確に分かり撤去前と撤去後の状況が確認できる写真とすること。 【提出部数】：1部 (3)完成写真 着工前及び完了時の状況を同一方向から撮影したものを提出すること。 （撮影箇所） 監督職員が指示する箇所 （写真規格） ・カラーサービス版 ・カラーキャビネ版 ・ （規格・提出部数） ・A4版クリアファイル 部 ・A4版写真台紙 部 ・アルバム 部 (4)その他の写真 隣接建物等に損傷の恐れがある場合は、施工前、施工後の写真を監督職員の指示により提出すること。 (5)保管 工事写真のネガは工事完成後、受注者において2年間保管すること。 工事用電力設備の保安責任者として関係法令等に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する ・電気保安技術者 ・適用しない ・適用する		① 騒音・粉塵等の対策（仮囲い等の安全施設） (2. 2. 1)		・解体工事着手前に工事対象区域内に仮囲い（・H＝ ・図示 ）を設置すること。 ・解体工事着手前に建物周囲に次の騒音・粉塵等の対策を行う。 （ ・防音パネル ・防音シート ・メッシュ金網、養生シート ） ・防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲及び高さ等 （ ・建物全周囲に建物高さ以上 ・図示 ） 枠組み足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月24日基発第0424001号）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の2の(2)又は(3)の方式により行うこと。 また、上記足場の設置や点検等については、労働安全衛生規則を遵守して実施すること。 ・騒音・振動計を設置すること。（設置箇所は図示による）	
7 現状復旧 工事に際し、隣接建物等に損傷を与えた場合は、速やかに現状復旧を行うこと。			⑬ 電気保安技術者等 (1. 3. 3 ～ 1. 3. 4)		工事施工に当たっての近隣との折衝は次による。また、経過について記録し、遅滞なく監督職員に報告する。 (1)地域住民等と工事の施工に必要な折衝をおこなうものとし、あらかじめその概要を報告する。 (2)工事に関して、第三者から説明の要求又は苦情があった場合は、直ちに誠意をもって対応する。		② 工事用水		原則、既設給水管設備は利用できない。ただし、利用可能な場合は、水道料金及び使用水量に応じポンプ運転に要した電力使用量は、受注者の負担とする。	
8 その他 (1)この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く）を第三者に請け負わせようとする場合は、原則として広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。 (2)解体仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法等を明示している場合において、それらが、関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。 (3)本工事の場合には工事中下記に示す調査を行うため、営繕課より連絡があれば対応すること。 ・公共事業労務費調査……工事中に実施（調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等）			⑭ 近隣との折衝 (1. 3. 6)		監督職員による随時の立入り検査を行う。 検査に必要な資機材、労務等を提供すること。		③ 監督職員事務所(2.3.1)		* 設けない ・ 設ける（ m程度）備品類等は監督職員の指示を受けて設置すること。	
II 解体工事仕様 1 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説」（最新版）（「解体仕様書」という。）による。 2 特記仕様 (1)項目は番号に○印のついたものを適用する。 (3)項目欄に記載の（ ）内番号は共通仕様書の当該項目を示す (2)特記事項は○印のついたものを適用する。 ○印のつかない場合は*印のついたものを適用する。 ○印と*印がついた場合は○印のついたものを適用する。 ○印と㊟印がついた場合は、共に適用する。			⑮ 施工の検査 (1. 5. 4)		*行わない ・行う（回数及び時期については監督職員の指示による。）		4 交通誘導員		*配置する ・配置しない 配置計画 *大型車両進入時 （ ）人／日 ・常時配置 （ ）人／日 ・（ ）作業期間 （ ）人／日	
I 一般共通事項			⑯ 中間技術検査 (1. 6. 2)		⑰ 工事報告		① 事前措置 (3.2.1)		(1)給水管、ガス管、電気ケーブル、下水道等の供給管等の切断及び樹、配管等の撤去は本工事に含む。 ① 配管等の切断及び汚水管、排水管等の末端処理については、供給者と事前に協議すること。 ② 水道、ガス、下水等の切断位置等は木杭等で明示する。また、記録を残し監督職員に提出する。 ③ 配管等の切断位置や、切り回し必要箇所等は図示による。 (2)落下するおそれのある付属物は撤去すること。 (3)解体に際して周辺環境に害虫等による影響が予想される場合は駆除等を行う。 (4)電気設備のコンデンサ等は残留電荷の確認を行い、必要に応じて放電する。 (5)衛生器具等は、十分に洗浄を行い、汚水、汚物等による異臭の発生を防止する。 (6)浄化槽、排水槽等の解体に係る汚水及び汚物等の残留物は、施設管理者が回収、洗浄等を行うため、時期等について協議すること	
			⑰ 工事報告		⑱ 埋設物等の報告		② 杭、基礎等 (3.9.1～3.9.2)		(1)基礎の解体撤去は、騒音・振動等に配慮して分別解体し、砂利地業・割り石まで行なうこと。 (2)杭の解体 ・残置させる *解体する（ ・引き抜き工法 ・破砕工法 ・ ） ① 杭を残置する場合は、杭の種類・杭径、杭の位置、杭頂部高さ、深さ等の記録を整備し、写真と共に監督職員に提出する。 ② 残置杭の中、杭の破砕跡は、現場発生の良質土で埋め戻すこと。 ③ 残置する杭頭は、キャップ等で被いコンクリートを打設すること。	
			⑱ 埋設物等の報告		⑲ 地下埋設物調査		③ 解体順序 (3.3.1)		解体仕様書解体手順における（1）解体設備は図示又はリストによる。	
							④ 構内舗装等 (3.11.1)		(1)アスファルトコンクリート及びコンクリート等の解体は本工事とし、分別解体する。 (2)樹木等の伐採根及び移植 *有り（図示による） ・無し	
							⑤ 地下埋設物 (3.12.1)		撤去する地下埋設物 ・浄化槽 ①排水枡 ・ハンドホール ・オイルタンク ・埋設廃棄物 ②（ 便槽 ） 上記以外で設計図書に記載されていない地下埋設物の存在を確認した場合は、監督職員に報告し、対応策を協議すること	

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	検 図	製 図	工事名称 市営南畑敷住宅 16・17号解体工事	図面名称 建築解体工事特記仕様書(1)	図面番号 A-01
						縮尺 N.S.	区分

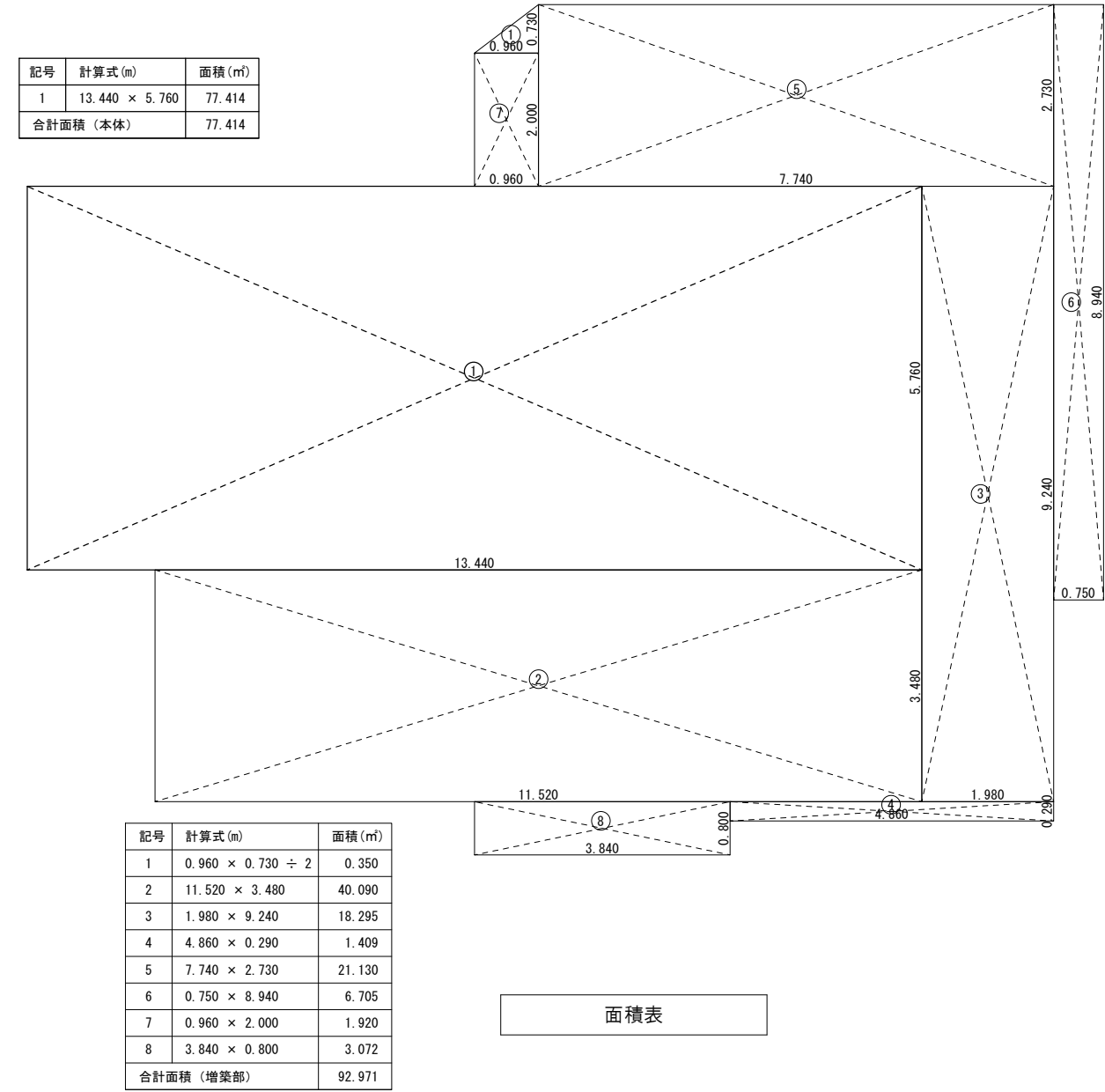
[illegible]

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	<div> <div>校 図</div> <div>製 図</div> </div>	<div>工事名称</div> <div>市営南畑敷住宅 16・17号解体工事</div>	<div>図面名称</div> <div>建築解体工事特記仕様書(2)</div>	<div>図面番号</div> <div>A-02</div>
					<div>縮尺</div> <div>N.S.</div>	<div>区分</div> <div></div>

（本体） 外部仕上表	屋根	スレート波板葺き（石綿含有）
	軒天	野地板現し
	外壁	板張り、上部漆喰塗り、妻側セメント板張り、一部腰壁モルタル塗り
	巾木	モルタル塗り
	庇	カラー鋼板
	構造規模	木造平屋建（コンクリート布基礎）
（入居者による増築部） 外部仕上表	屋根	ポリカーボネート波板張り、一部金属瓦棒葺き
	外壁	化粧合板張り、一部ポリカーボネート波板張り
	構造規模	木造平屋建（コンクリートブロック基礎）

内部仕上表	16号	室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	廻縁	造作・家具	備考
		玄関	コンクリート直押え板張り	モルタル塗り		土壁の上、化粧合板張り	竿縁天井	木製廻縁H40		
		便所	板張り		板張り	土壁の上、左官塗り	竿縁天井	木製廻縁H40		和式便器×1、手洗器×1、小便器×1
		和室6帖	畳敷き	畳寄せ		土壁の上、化粧合板張り	竿縁天井	木製廻縁H40		
		和室4.5帖	畳敷き	畳寄せ		土壁の上、化粧合板張り	竿縁天井	木製廻縁H40		
		和室3帖	畳敷き	畳寄せ		土壁の上、化粧合板張り	竿縁天井	木製廻縁H40		
		台所	コンクリート直押え			土壁の上、化粧合板張り	合板張り	木製廻縁H40		流し、コンロ台
		押入1	板張り			土壁の上、左官塗り	竿縁天井	木製廻縁H40	中段	
		押入2	板張り			土壁の上、左官塗り	竿縁天井	木製廻縁H40	中段、天袋	
	17号	玄関	コンクリート鍔押え板張り	モルタル塗り		土壁の上、左官塗り	竿縁天井	木製廻縁H40		
		便所	板張り			土壁の上、化粧合板張り	竿縁天井	木製廻縁H40		手洗器×1、小便器×1
		和室6帖	畳敷き	畳寄せ		土壁の上、化粧合板張り	竿縁天井	木製廻縁H40		
		和室4.5帖	畳敷き	畳寄せ		土壁の上、左官塗り（一部合板張り）	竿縁天井	木製廻縁H40		
		和室3帖	畳敷き	畳寄せ		土壁の上、化粧合板張り	化粧石膏ボード張り	木製廻縁H40		
		台所	クッションフロア			土壁の上、化粧合板張り	化粧石膏ボード張り	木製廻縁H40		流し、コンロ台
		押入1	板張り			土壁の上、左官塗り	竿縁天井	木製廻縁H40	中段	
		押入2	板張り			土壁の上、左官塗り	竿縁天井	木製廻縁H40	中段、天袋	
		洋室（入居者による増築部）	カーベット敷き 一部フローリング張り			化粧合板張り	化粧合板張り	木製廻縁H40		浴槽
		浴室（入居者による増築部）	コンクリート直押え			化粧合板張り	化粧合板張り	木製廻縁H40		
		廊下（入居者による増築部）	フローリング張り			化粧合板張り	化粧合板張り	木製廻縁H40		

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一般建築士 登録 第320892号 原井 隆	検 図	製 図	工事名称 市営南畑敷住宅 16・17号解体工事	図面名称 平面図・仕上表	図面番号
				A-03			

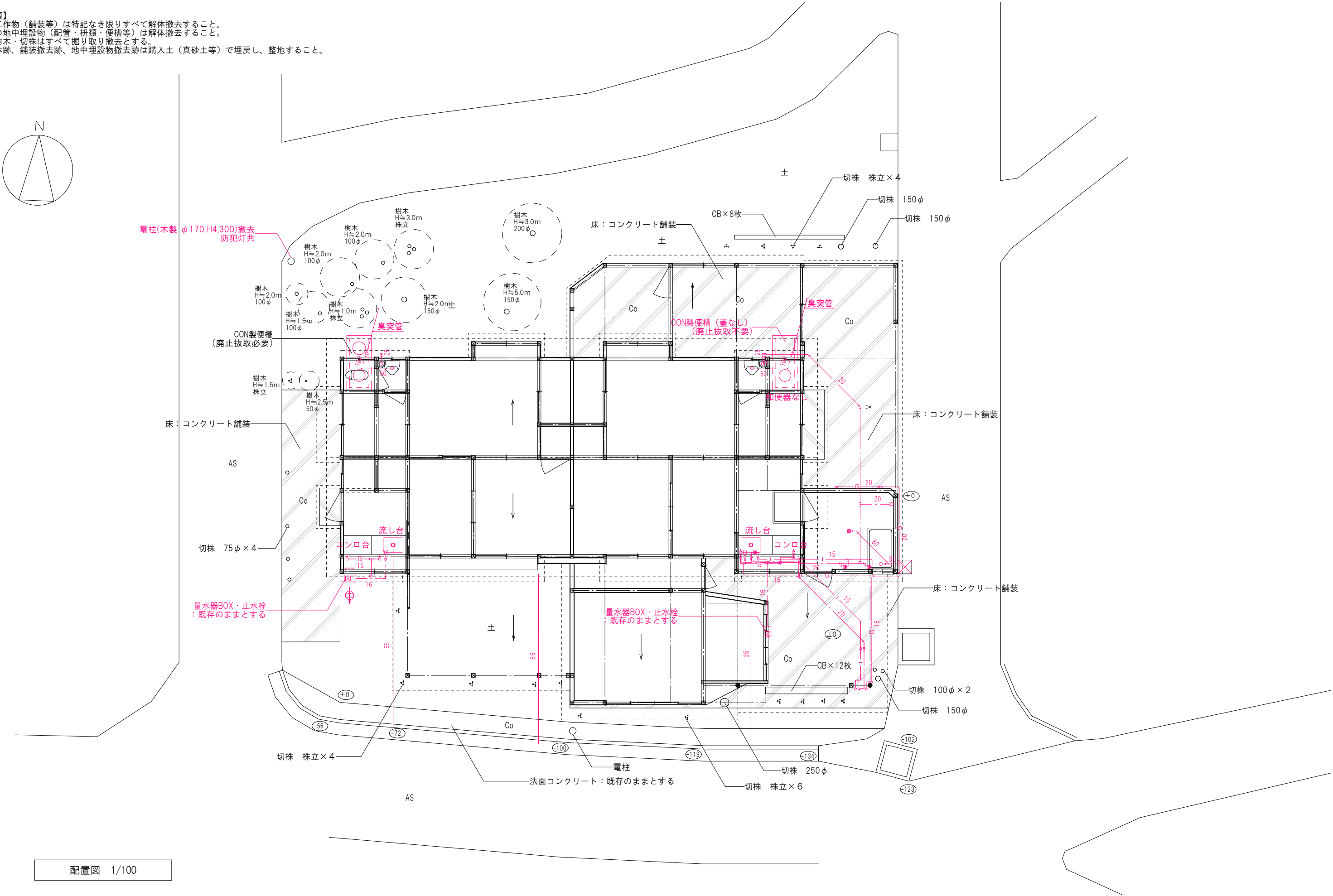


附近見取図

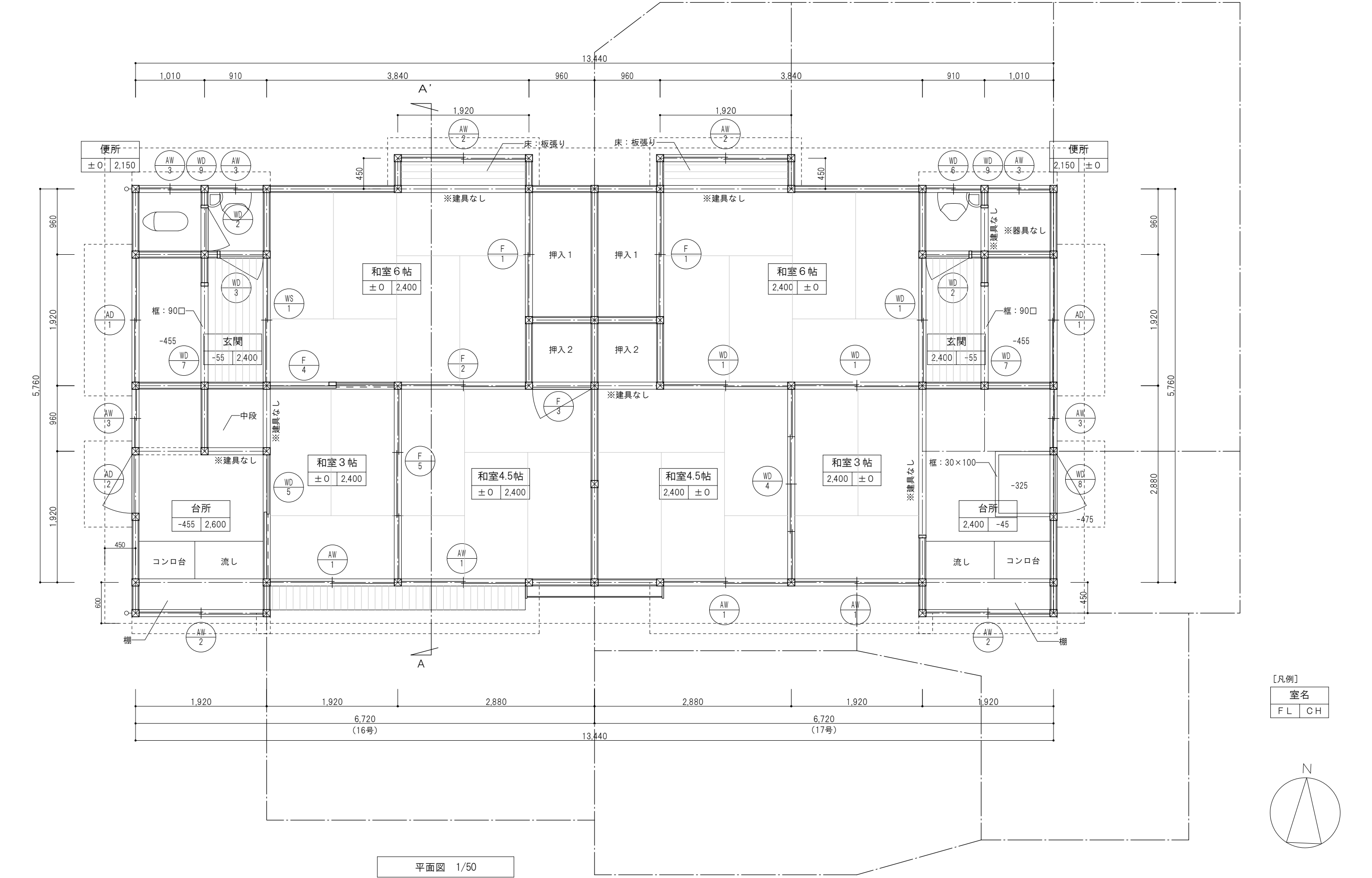
建具表 (本体)	建具記号	数量	形式	W×H	備考	建具記号	数量	形式	W×H	備考
	A D－1	2	アルミ製玄関引違い戸（ガラス）	1815×1820	上部ガラスランマ320H	W D－1	3	木製引違い戸（ガラス、格子）	1815×1730	
	A D－2	1	アルミ製勝手口ドア（ガラス）	800×1820		W D－2	2	木製片開き戸	855×1730	
	A W－1	4	アルミ製引違い窓（ガラス）	1815×1730		W D－3	1	木製片開き戸（ガラス、フラッシュ）	855×1730	
	A W－2	4	アルミ製引違い窓（ガラス）	1815×1200		W D－4	1	木製4枚引違い戸（ガラス、格子）	2775×1730	
	A W－3	5	アルミ製引違い窓（ガラス）	855×450		W D－5	1	木製片引き戸（ガラス、格子）	855×1730	
	F－1	2	引違い襖	1815×1730	上部天袋550H	W D－6	1	木製引違い戸（ガラス）	855×450	
	F－2	1	引違い襖	1815×1730		W D－7	2	木製引違い戸（框下）	1815×260	
	F－3	1	開き戸襖	855×1730		W D－8	1	木製片開き戸（フラッシュ）	855×1780	
	F－4	1	片引き戸襖	855×1730		W D－9	2	木製引違い戸（ガラス）	855×330	
	F－5	1	3枚引違い戸襖	2775×1730		W S－1	1	引違い障子	1815×1730	下部ガラス320H

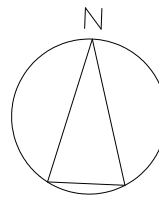
(入居者による増築部) 建具表	建具記号	数量	形式	W×H	備考
	A W－1	1	アルミ製4枚引違い窓（ガラス）	1880×880	
	A W－2	1	アルミ製引違い窓（ガラス）	830×550	
	A D－1	1	アルミ製勝手口ドア（ガラス）	820×1800	
	W D－1	1	木製4枚引違い戸（ガラス）	2800×1360	
	W D－2	1	木製片開きフラッシュ戸（ガラス）	640×1820	
	W D－3	1	木製引違い戸（ガラス）	2175×2230	
	W D－4	1	木製引違い戸（ガラス）	1050×650	
	W D－5	1	木製片開きフラッシュ戸（ガラス）	900×1730	

【特記事項】
・敷地内工作物（舗装等）は特記なき限りすべて解体撤去すること。
・敷地内の地中埋設物（配管・枳類・便槽等）は解体撤去すること。
・敷地内樹木・切株はすべて掘り取り撤去とする。
・建物解体跡、舗装撤去跡、地中埋設物撤去跡は購入土（真砂土等）で埋戻し、整地すること。

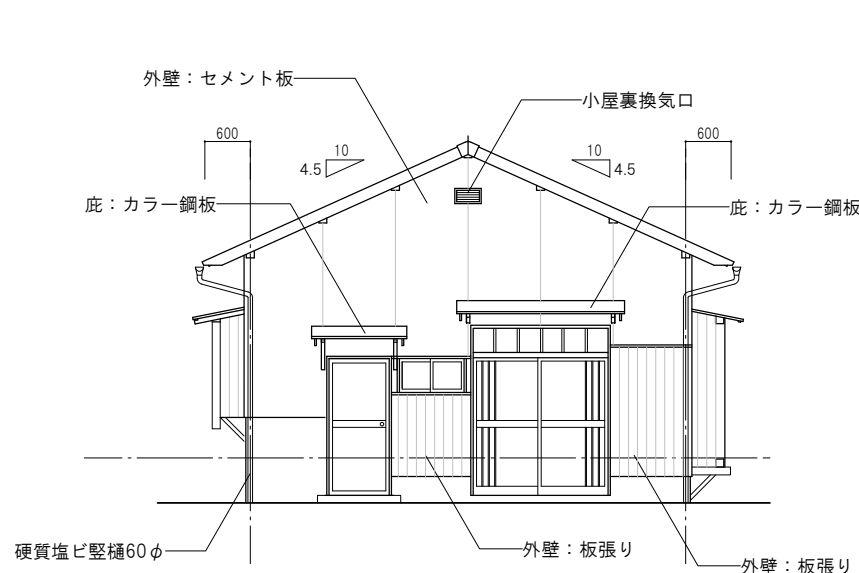


訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 在島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	検 図	製 図	工事名称 市営南畑敷住宅 16・17号解体工事	図面名称 配置図 縮尺 A3判：1/100	図面番号 A-05
							区分

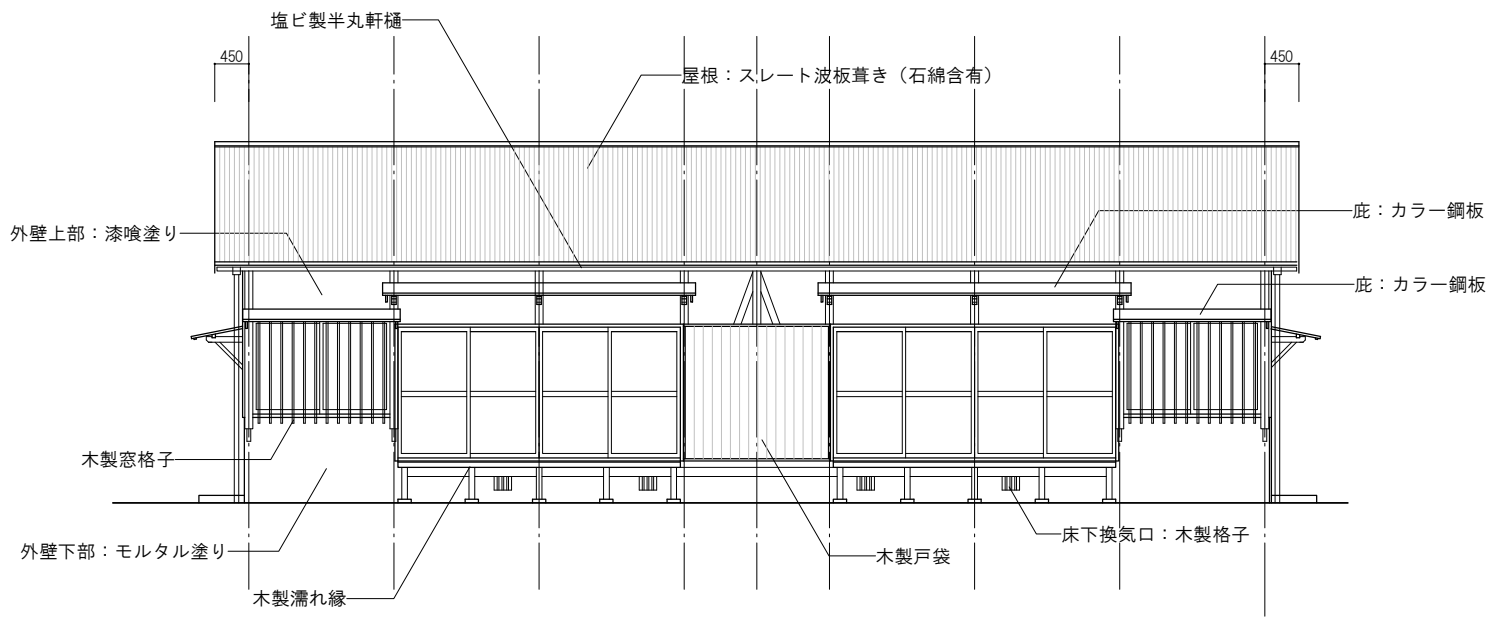




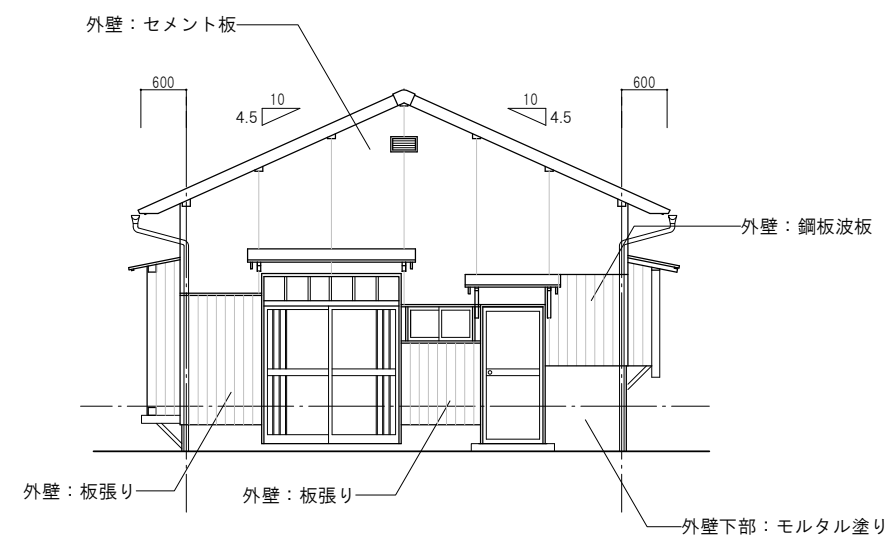
A3判: 1/50



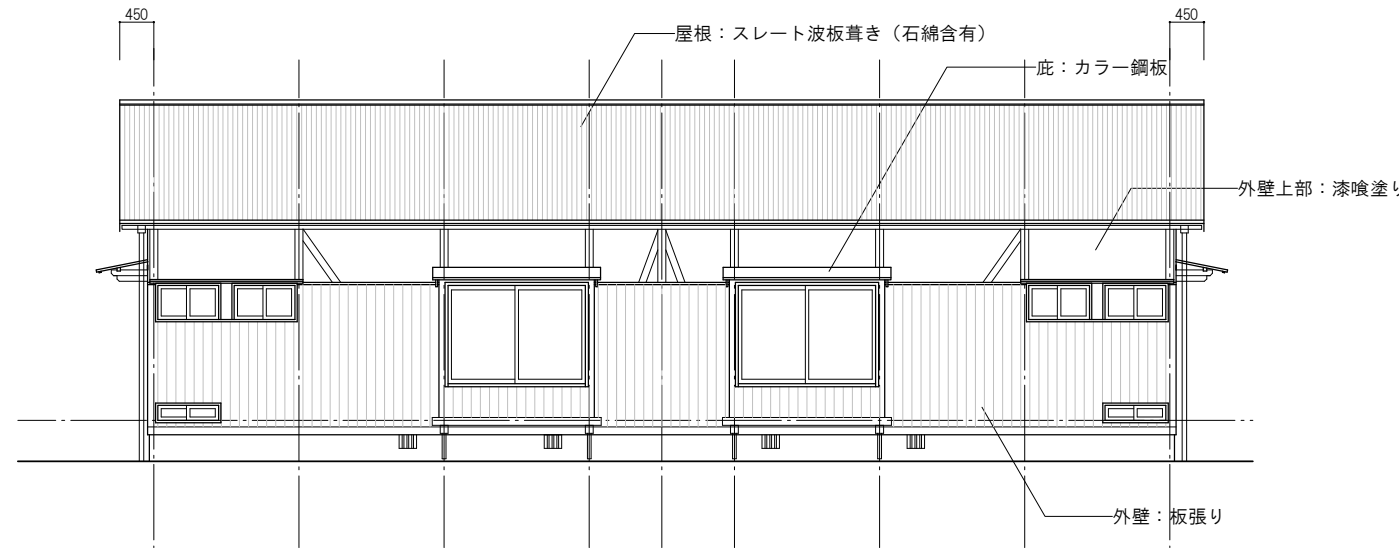
東側立面図 1/100



南側立面図 1/100

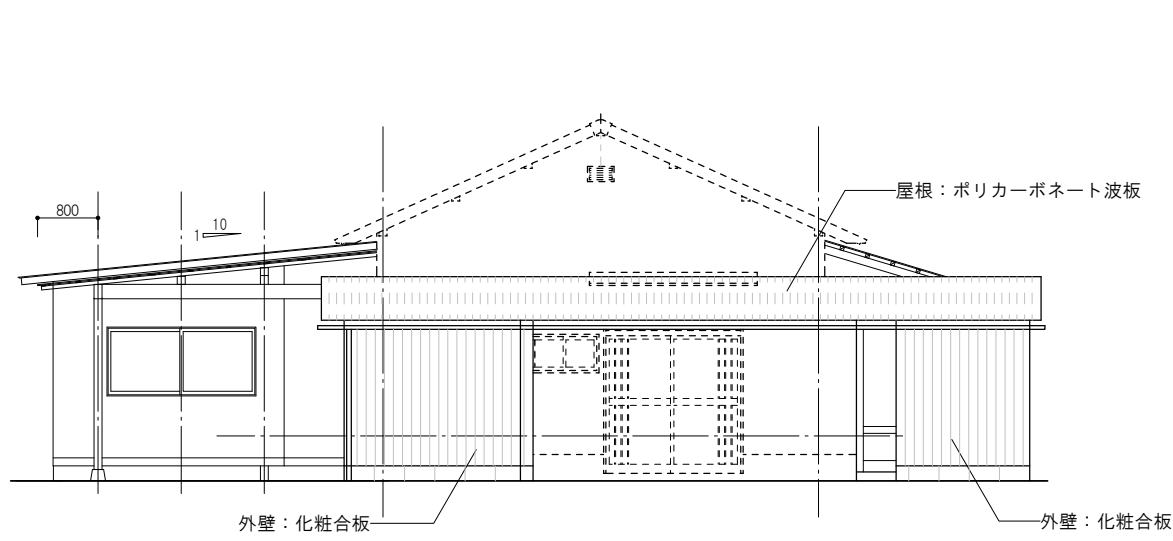


西側立面図 1/100

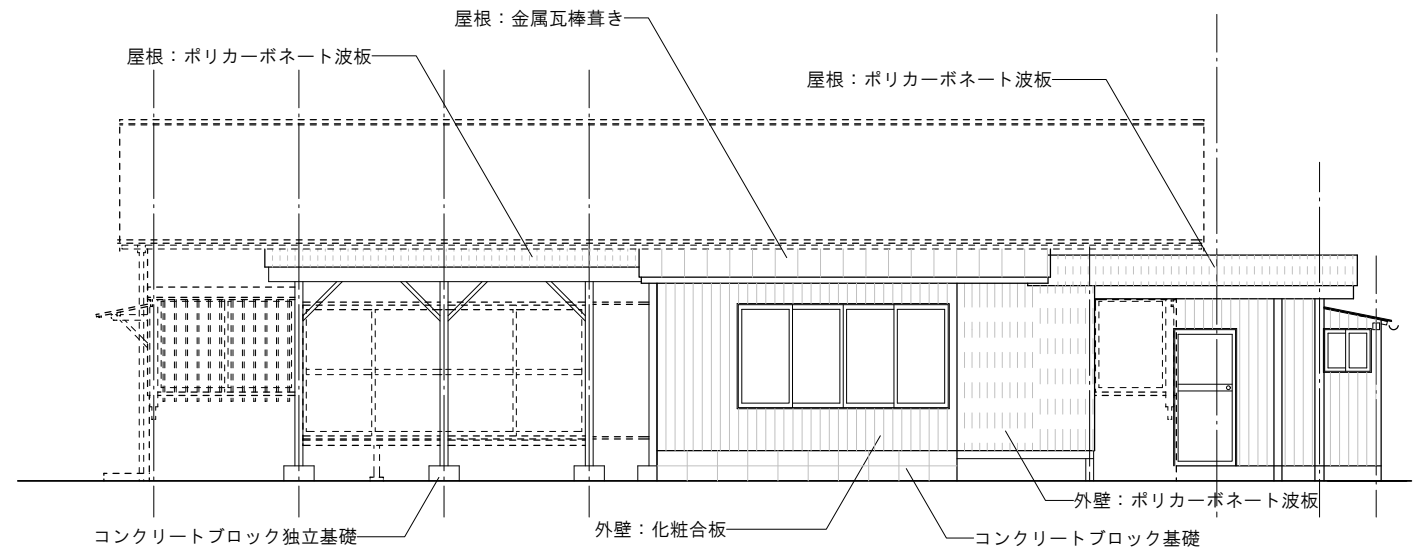


北側立面図 1/100

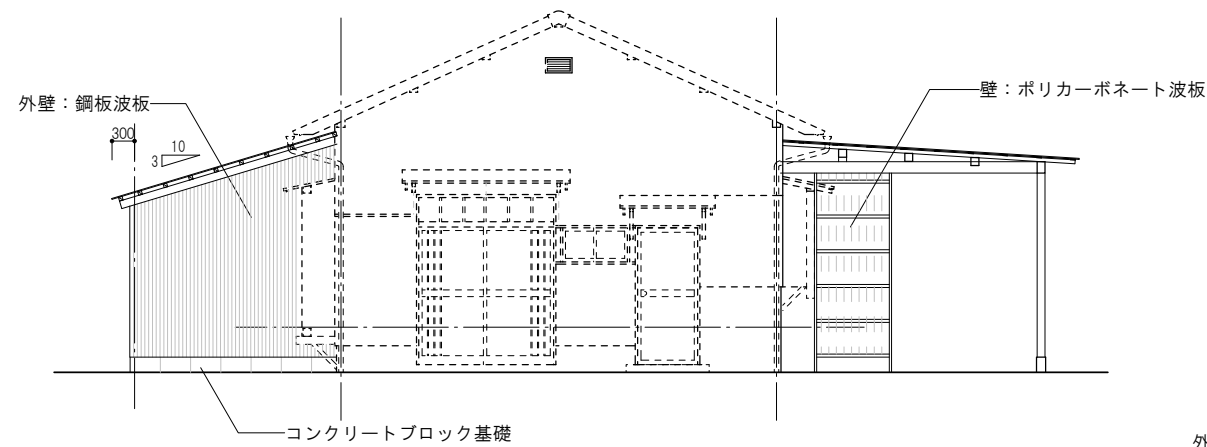
訂正			校 図	製 図	工事名称 市営南畑敷住宅 16・17号解体工事	図面名称 立面図（本体）	図面番号
							A-08
							区分
			TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆			縮 尺 A3判：1/100	



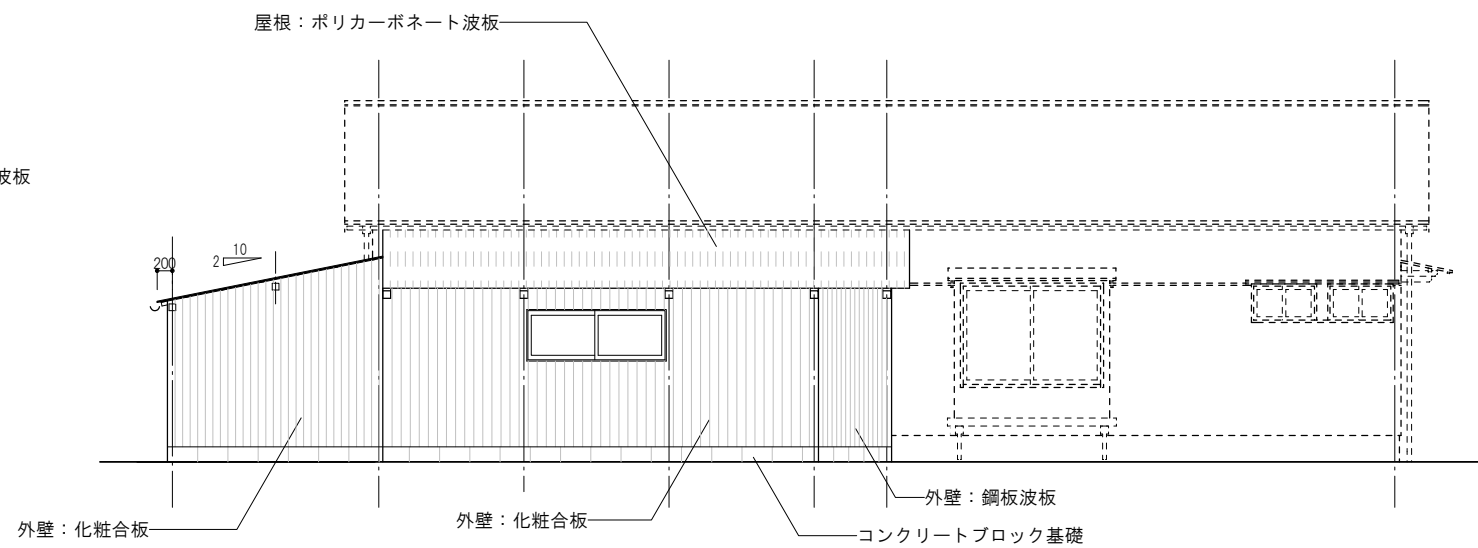
東側立面図 1/100



南側立面図 1/100

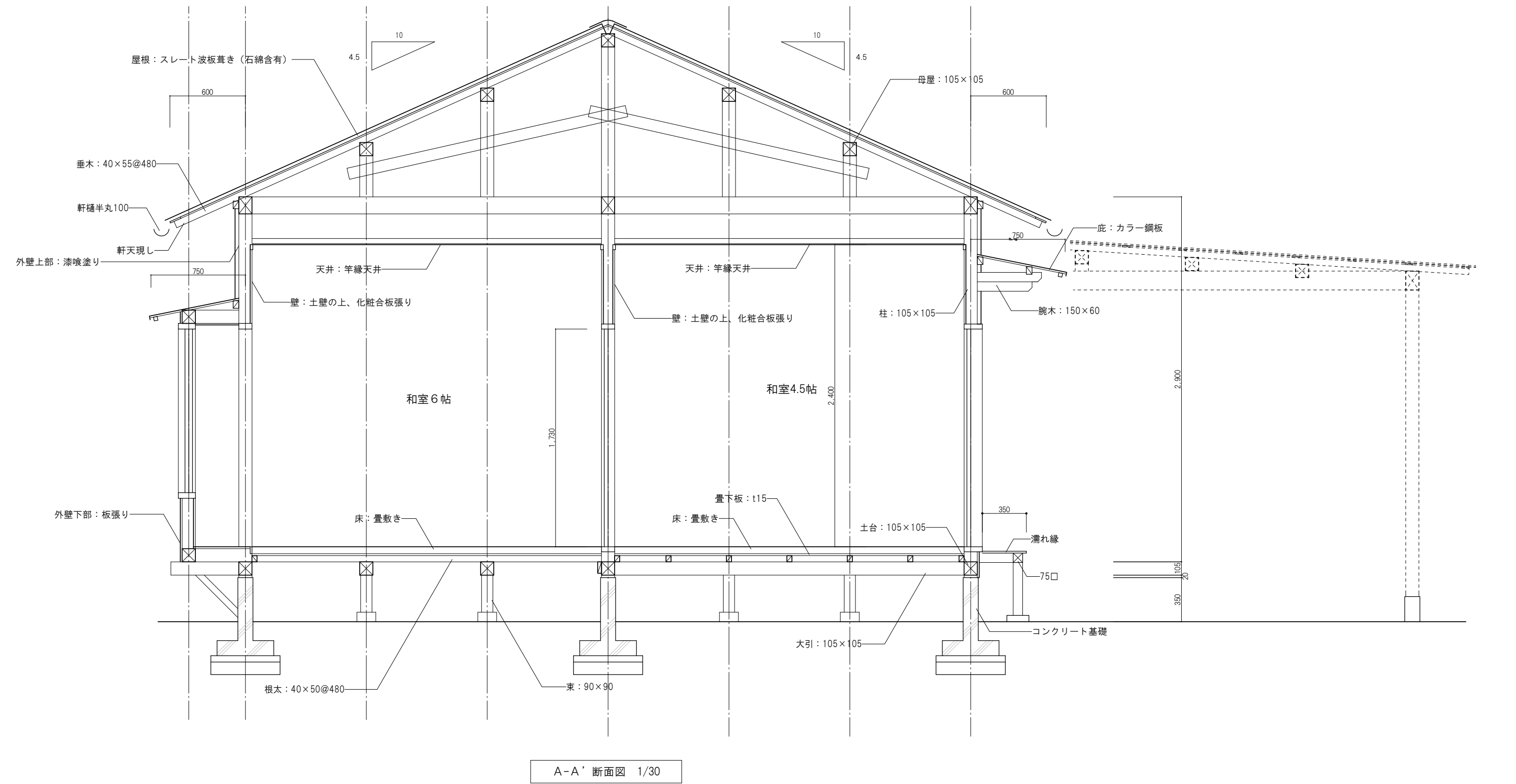


西側立面図 1/100

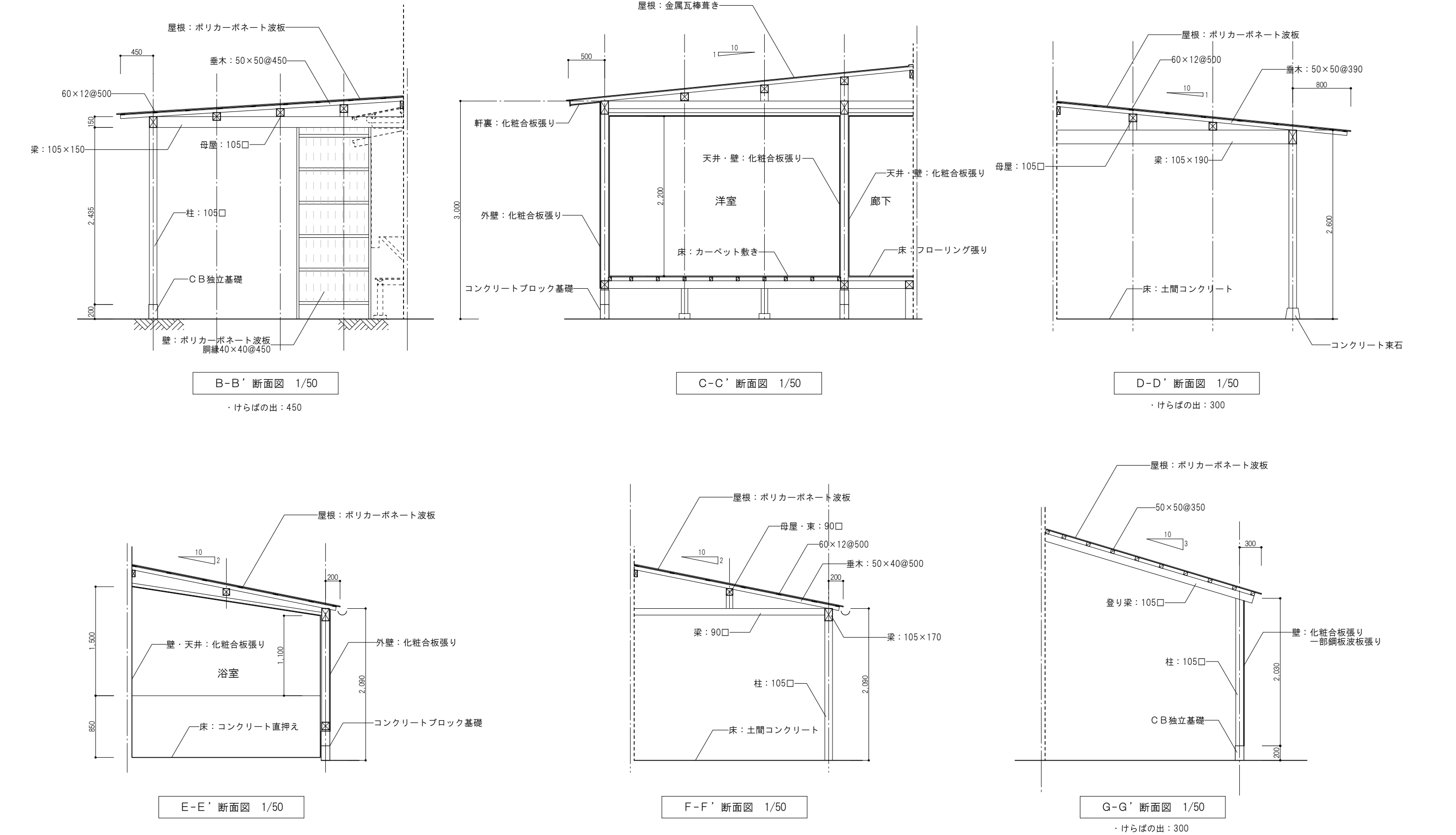


北側立面図 1/100

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	校 図	製 図	工事名称 市営南畑敷住宅 16・17号解体工事	立面図 (入居者による増築部)	図面番号
							A-09
							図面区分
			縮 尺		A3判：1/100		

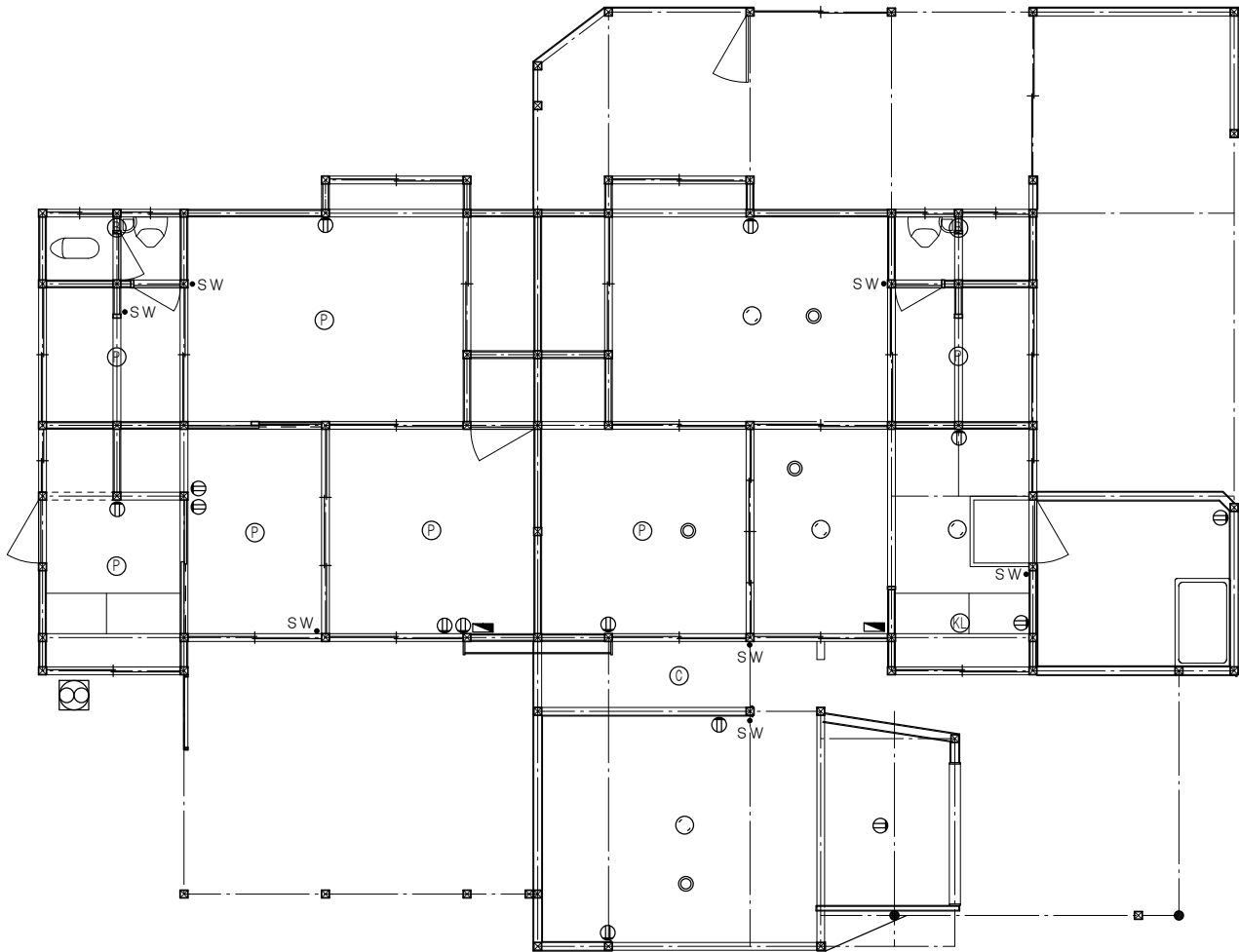


訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 立島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第30892号 原井 隆	校 図	製 図	工事名称 市営南畑敷住宅 16・17号解体工事	図面名称 断面図 (本体)	図面番号
				A-10			
							縮尺 A3判: 1/30



訂正			TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	校 図	製 図	工事名称 市営南畑敷住宅 16・17号解体工事	図面名称	断面図 (入居者による増築部)	図面番号				
								A-11					
								A3判: 1/50	区分				

凡例	
⊖	コンセント
⊙	火災報知器
⑩	電話
● _{SW}	スイッチ
▬	分電盤、ブレーカー
⊗	壁付換気扇
○	引掛けシーリング
Ⓟ	ペンダントライト
Ⓟ	ブラケットライト
Ⓒ	シーリングライト
ⓀⓁ	キッチンライト



電気設備平面図 1/100

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	校 図	製 図	工事名称 市営南畑敷住宅 16・17号解体工事	図面名称 電気設備平面図	図面番号
	E-01						